

## Passenger2.2.9パラメーター一覧

パフォーマンス用オプション				
項目名	意味	初期値	設定値	補足
<b>PassengerMaxPoolSize</b>	同時にアクティブになる最大インスタンス数	6		2Gメモリ搭載なら30。256Mメモリ+MySq同時稼働なら2を推奨
<b>PassengerMaxInstancePerAPP</b>	1つのアプリで同時にアクティブになる最大インスタンス数	0		0は制限なし。PassengerMaxPoolSizeより小さい必要あり
<b>PassengerPoolIdleTime</b>	インスタンスがアイドル状態で待機する秒数	300		アイドル時間にアクセスが無かったインスタンスは解放される 0を設定した場合には、固定化され自動では解放されない
<b>PassengerMaxRequests</b>	1つのインスタンスが受け付けられるリクエストの最大数	0		0の場合は最大数設定無し。設定していると指定回数リクエストを受けたインスタンスは自動的にシャットダウンされる（アイドルのタイムアウトに達していなくても）
<b>PassengerStatThrottleRate</b>	環境定義ファイルを監視する秒間隔	0		0はリクエストを受ける度にファイルを検査する。指定していると指定秒数毎に検査する
<b>PassengerHighPerformance on off</b>	Passengerの動作速度を高速にする	off		mod_rewrite等を無効化するので仕様には注意が必要（マニュアル参照）

Rails用オプション				
項目名	意味	初期値	設定値	補足
<b>RailsAutoDetect on off</b>	virtual Host情報から自動的にRailsアプリを検出するか？	on		マニュアル5.14.1参照
<b>RailsBaseURI uri</b>	Railsアプリケーションに特定のURIを引き渡しする	無し		マニュアル5.14.2参照
<b>RailsEnv</b>	特定のRAILS_ENV値を設定する	production		マニュアル5.14.3参照
<b>RailsSpawnMethod</b>	Railsアプリの起動方法	smart-lv2		smart smart-lv2 conservativeから選択する。Mongrelで動作するけどPassengerで動作しない場合はconservativeを試すと良い(マニュアル5.14.4参照)
<b>RailsFrameworkSpawnerIdleTime</b>	FrameworkSpawnerサーバーのアイドルタイムアウト秒	1800		0に設定するとアイドルタイムアウトを発生させない
<b>RailsAppSpawnerIdleTime</b>	ApplicationSpawnerサーバーのアイドルタイムアウト秒	600		0に設定するとアイドルタイムアウトを発生させない。Spawning methods explainedに詳しい説明あり